

快適で豊かな都市環境の形成

① 598億円 (③ 633億円)

■ 暑さ対策 気候変動対策 ① 214億円 (③ 87億円)

- 新** ▶ **オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた暑さ対策事業** ① 2億円 (新規)

東京2020大会において、厳しい暑さから都民や観客、観光客などの健康と安全を守るため、平成31年夏のテストイベントで対策の試行・検証を実施
- ▶ **クールスポット創出支援事業** ① 0.9億円 (③ 0.4億円)

微細ミストや庇等、暑熱対応設備の整備経費を補助
- 新** ▶ **暑さ対策工事** ① 0.8億円 (新規)

東京2020大会に向け、ライブサイト会場等となる都立公園に微細ミストを設置
- ▶ **沿道環境等に配慮した路面の高機能化** ① 65億円 (③ 59億円)

大都市特有の課題であるヒートアイランド現象を和らげる対策の一つとして、都心部など特に対策が必要な地域を中心に、道路の補修工事にあわせて遮熱性舗装・保水性舗装等を行い、路面温度の上昇を抑制
- ▶ **公立学校における屋内体育施設の空調設置** ① 118億円 (③ 3億円)

猛暑においても、児童・生徒の安全な教育環境を確保するとともに、災害時における避難施設等としての環境を確保するため、屋内体育施設の空調について、公立小中学校の支援と都立学校における設置を促進（規模 小・中学校 整備費補助（*）・リース補助 657棟、都立学校 24棟）

* 小・中学校整備費補助（3か年 538棟）に関する経費については、平成30年12月補正予算において計上済み

など

暑さ対策の全体像

東京2020大会	新 ○ オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた暑さ対策事業	2億円
	○ 東京2020大会に向けた暑さ対策推進事業	2億円
	○ クールスポット創出支援事業	0.9億円
	○ 暑さ対策気運醸成（打ち水）	0.4億円
	○ 沿道環境等に配慮した路面の高機能化	65億円
	○ 臨海副都心地域遮熱性舗装整備	1億円
	新 ○ 暑さ対策工事	0.8億円
		など

公立学校の空調設置	新 ○ 屋内体育施設の空調設置（公立小中学校・整備費補助）	0.3億円
	新 ○ 屋内体育施設の空調設置（公立小中学校・リース補助）	99億円
	○ 特別教室等の空調設置（公立小中学校）（ 新 給食調理室）	9億円
	○ 都立学校の空調設置	28億円